



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪市北区豊崎4丁目 新築工事		
建設地	北区豊崎4丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	野村不動産(株)		
設計者	(株)IAO竹田設計		
敷地面積	1,380.99	m ²	
建築面積	704.50	m ²	
延床面積	14,242.65	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上28階
完了年(予定)	2023年1月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

A
BEE=1.6

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

ラベル表示 有

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.1)

項目	スコア
音環境	3.1
温熱環境	3.1
光・視環境	3.0
空気質環境	3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

項目	スコア
機能性	3.7
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア= 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.5

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

項目	スコア
地球温暖化への配慮	4.0
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
二重サッシやLow-Eガラス、高性能断熱材の採用等断熱性能の向上を図り、省エネルギー・資源の有効利用に配慮した。	特になし
Q1 室内環境 開口部を積極的に設け、明るく快適な住空間とする一方で高い断熱仕様により安定した温熱環境を確保した。	Q2 サービス性能 構造躯体の劣化に対し配慮した。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地境界からの離隔距離を大きく確保し、周囲に緑豊かな空気を設けることで町並みの修景に配慮した。	LR3 敷地外環境 自転車による代替え交通手段の積極的利用を推進するため、条例の基準値を上回る駐輪スペースを設けた。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化を積極的に行い、省エネルギー化を図った。	LR2 資源・マテリアル 温暖化防止に配慮し、ODP・GWPの少ない製品を採用した。

1/4

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分(品確法等級) 等級4を超える(相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.70	0.70	-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート (太陽熱利用設備用)

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ (92) m <input type="checkbox"/> 地上部 (<input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 ()
イ アの周囲における日射遮蔽物	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m 方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
ウ 日照の確保 (冬至)	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分
③ 熱需要の条件等の検討	
ア 建築物の用途	集合住宅
イ 熱需要対象用途	<input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
ウ 設置可能面積	(12.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(26,124) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
カ 設置に備えた対応	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (例：設備用基礎の設置) ()
④ 導入判断	
検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない	
導入を見送る理由 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input checked="" type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input checked="" type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他 ()	
2 導入する設備の概要	
ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	<input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他 ()
備考	